

🔓 オープンアクセスウィーク 2021

10/25

10/31

今年のテーマ

いかに知識をオープンにするか

～構造的公平性の構築を目指して～

2020年9月、ユネスコは「オープンアクセスに関する勧告」の草案を発表しました。

今年のテーマはこの草案に沿って立てられており、あらゆる立場の人々が、平等に、多くの知識へとアクセスできる社会について考える機会とすることを目指しています。

オープンアクセスウィークとは

オープンアクセスの意義などを周知するため、毎年10月に行われる世界的なイベントのこと。その年のテーマに沿った様々な取り組みが世界各地で行われます。

千葉大学附属図書館でも、そうした取り組みの一環として、オープンアクセスに関する情報を積極的に発信します。

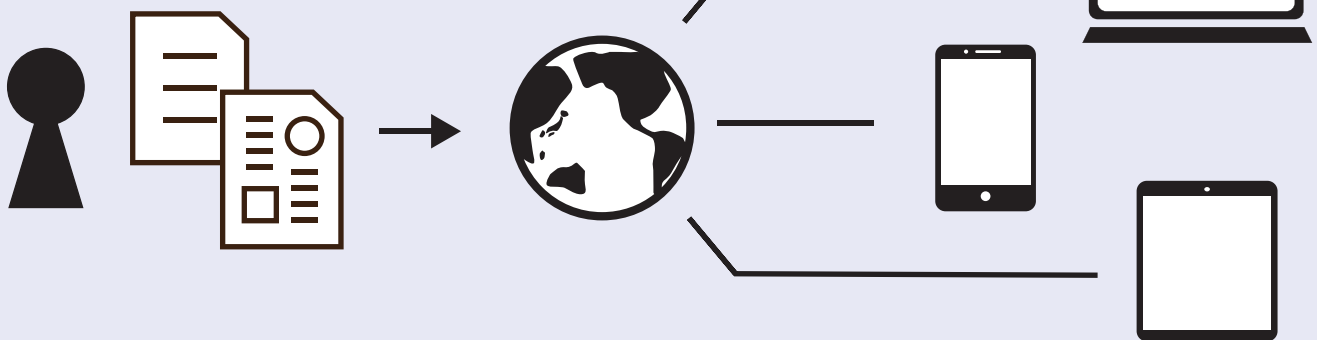
オープンアクセスウィークのWebサイトはこちら



🔓 オープンアクセスの基礎知識

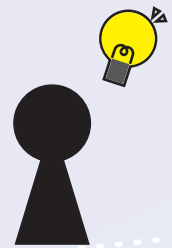
オープンアクセスとは

研究成果をまとめた論文やデータをインターネット上に無料で公開すること



オープンアクセス化が進むと……

- ① 自分の研究成果を広く知ってもらえる
- ② 他人の研究成果が手に入りやすくなる
- ③ 新たな研究の可能性が生まれる



千葉大学のオープンアクセス化支援

千葉大学では年間約 1,500 件の研究成果を「千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR」から公開しています

[CURATORの詳細はこちら](#)



グリーンオープンアクセス

オープンアクセス化する方法にはいくつかの種類があり、その一つとして「グリーンオープンアクセス」があります。

グリーンオープンアクセスとは

- 学術雑誌などに掲載済みの研究成果を、研究者自身が機関リポジトリや自分のサイトから公開する方法
- この方法で公開できる研究成果には条件がある

❓ 機関リポジトリとは

自機関の学術研究成果を収集・保存・公開するシステムのこと。
「千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR」もその一つ。

グリーンオープンアクセスのメリット

- 公開するための新たな費用がかからない

オープンアクセスジャーナル（全てあるいは一部の論文を無料公開しており、インターネット上で誰でも読むことのできる雑誌）へ投稿することによってオープンアクセス化を図る方法では、論文掲載料を支払う必要があります。

千葉大学オープンアクセス方針

オープンアクセス方針とは、自国・自機関の研究成果をどうオープンアクセス化していくかを定めた方針のことです。

本学では2016年に「千葉大学オープンアクセス方針」を策定し学内の研究成果のオープンアクセス化を推進しています。

千葉大学オープンアクセス方針の詳細はこちら





ハゲタカジャーナルに注意！

ハゲタカジャーナルとは

著者から論文掲載料を騙し取ることを目的としている、
オープンアクセスジャーナルの仕組みを悪用した悪質な雑誌のこと

- ❓ 論文掲載料（APC=Article Processing Charge）とは
雑誌に投稿した論文をオープンアクセス化するために必要となる費用。

ハゲタカジャーナルに投稿してしまうと……

- 研究コミュニティ内での自身の信頼・評価が低下する
- 不当に高額な論文掲載料を請求される
- 論文を投稿した後にハゲタカジャーナルであることに気づいても論文の撤回が認められず、他のジャーナルへの再投稿ができなくなる

ジャーナルの安全性を判断するために役立つリスト

ホワイトリスト

- **Directory Open Access Journals (DOAJ)**
厳しい審査を通過した、安全性の高い約 17,000 誌のオープンアクセスジャーナルが掲載されているデータベースです。
- **Quality Open Access Market (QOAM)**
約 43,000 誌のオープンアクセスジャーナルについて、論文掲載料（APC）や品質に関する情報が掲載されています。



健全性チェックリスト

- **Think. Check. Submit.**
投稿予定のジャーナルが信用に値するかをチェックするためのリストです。検討の際に注意すべきポイントが掲載されています。

